

中部国際医療センターに院外心停止のために救急搬送され治療を受けられた患者さん、ご家族さまへ

## 院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する研究へのご協力をお願い

当院では以下の臨床研究を行っています。この研究は、院外心停止となられた患者さんの蘇生記録、診療情報を研究データとしてまとめるものです。日本救急医学会が主体となって運営する他施設共同院外心停止レジストリに患者さんの蘇生記録、診療情報などを登録し検証します。研究のための新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者に当たると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究にご協力いただけないご意思のある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、研究にご協力いただけない場合でも、不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

### 【対象となる期間】

倫理委員会承認日から 2027/5/31（予定）

### 【対象となる方】

院外心停止のため、救急隊が蘇生処置を行い、中部国際医療センターに搬送された方

### 【研究の目的】

本邦では年間 7 万人を超える心臓突然死が発生している。病院前救急医療の発展により、院外心停止例の社会復帰率は改善しているが、いまだに 8%程度と非常に低い。更なる社会復帰率向上のために、病院到着後の集中治療の効果が期待されるが、その治療実態と効果は明らかでなく効果的な治療法、適切な搬送先選定基準は確立されていない。本研究では、院外心停止例の搬送先病院の治療体制及び、低体温療法などの病院到着後の集中治療に関するデータを全国で前向きに登録・分析し、『搬送先病院の選定基準、有効な集中治療など院外心停止の社会復帰率を向上させるための治療ストラテジを検討すること』を目的とする。

### 【利用する資料】

- 1 基本情報登録 都道府県、病床数(集中治療室(ICU)病床数、小児集中治療室(PICU)病床数)、救急病院種別、スタッフ数(医師、看護師)、専門医種別。性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収容時刻)、適格基準
- 2 ウツタイン(病院前救護)記録(8) 救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接触時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開。
- 3 病院到着後記録 病院収容時刻、ドクターカー・ヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、12誘導心電図、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データな

受付番号：2023-029

ど通常の診療範囲内で行う診察や検査の結果、CPA に至った原因、病院搬入後の状態、積極的治療中止の有無とその原因、発症 1 ヶ月後生存、発症 90 日後生存、発症 1 ヶ月後の脳機能、発症 90 日後の脳機能、入院前および退院後の生活様式に関する情報、退院後の健康関連 QOL。

**【研究責任者など】**

研究責任者：岩瀬塔真 診療部 救急部門 医師  
共同研究者：片田将司 診療部 救急部門 ナースプラクティショナー  
水谷喜雄 診療部 救急部門 医師  
堀江直史 診療部 救急部門 医長  
稲葉正人 診療部 救急部門 部長代行  
齋藤史朗 診療部 救急部門 部長  
浅野好孝 診療部 救急部門 部長  
金田英巳 診療部 救急部門 部長  
奥寺敬 診療部 救急部門 部長

指導研究者：山田実貴人 診療部 副院長 救急部門 部門長

多機関共同研究の場合

主たる研究機関名：京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康要因学講座予防医療学

研究代表者：石見 拓

**【連絡先】**

中部国際医療センター 診療部 救急部門

電話番号 0574-66-1100 (内線 7661)

責任者氏名：岩瀬塔真